未来（あした）へつなぐ

JR北海道グループは、お客様の安全を最優先に、
安心してご利用いただけるサービスを提供し、
お客様満足の向上をめざします。

歩きスマホや自撮り棒の危険性を注意喚起！駅を安全・快適にご利用いただくためにお客様への呼びかけを行っています。

JR北海道では毎年、乗車マナーの向上を呼びかける「乗車マナー添乗」を実施し、お客様により安心・快適に列車をご利用いただけるよう努めています。こうした"列車内"での取り組みに加え、駅等の施設についても安心で、安全な環境を提供するため、他交通事業者等と連携した取り組みを行っています。

その一つが、平成二十八年七月十九日から八月三十一日まで実施した「みんなで手すりにつかまろう」キャンペーンです。近年、エスカレーター利用時にお客様がご自身でバランスを崩されて転倒したり、駆け上がったり下りたりする際に他のお客様と接触して転倒させてしまう事象が他の鉄道事業者で報告されています。このキャンペーンでは、こうした事象を防ぎ、すべてのお客様が安心してエスカレーターをご利用できるよう、「みんなで手すりにつかまろう」と呼びかけ、安全を促しています。JR北海道では今年で四回目の実施となりました。

また、平成二十八年十一月一日から三十日までの一ヵ月にわたって「やめましょう、歩きスマホ。」キャンペーンを実施。携帯電話やスマートフォンのながら歩きは、お客様同士の衝突や線路への転落など、ときには命にかかわることもある危険な行為です。このキャンペーンでは、歩きスマホの危険性の高さを周知し、安全なご利用を促進することを目的に、駅構内へのポスター掲示、ポケットティッシュの配布等によりPR活動を展開しました。

さらに、スマートフォンの普及で広まった自撮り棒の使用についても注意喚起を行っています。JR北海道では、北海道新幹線の開業を機に電化区間における自撮り棒等を使ったホーム上での撮影をおやめいただくよう呼びかけています。なぜなら、ホームという限られたスペースで自撮り棒を使った場合、他のお客様にぶつかったり、列車に接触することが予想されます。しかも、電化区間には電車に電気を供給するための架線（電線）があり、架線は常に放電している状態にあります。つまり、自撮り棒を伸ばした際、架線に直接触れなくとも感電してしまう恐れがあるのです。

JR北海道では、お客様ご自身の安全、そして周りの方々の安全と安心のためにもマナーを守って施設をご利用いただくよう、今後も継続してお客様への呼びかけを行っていきます。

ホームにおける自撮り棒使用の危険性を訴えるポスター。

文＝本間 吾里砂